

第79回日本臨床眼科学会

モーニングセミナー1

日時：2025年10月10日（金）7:30～8:20

会場：第3会場（大阪国際会議場10F 1003）

# 白内障エビデンスクラブ Vol.6

## 多焦点眼内レンズを科学する

座長抄録

座長

宮田眼科病院  
宮田 和典先生

元来、医師はエビデンスを元に患者の治療にあたる。重要なのはそのエビデンスの質である。そこで我々は、臨床で直面する白内障の諸問題を、いわゆる個人的な感想や不十分なデータによる評価ではなく、臨床研究をもとにした確固たるエビデンスを元に解決する白内障エビデンスクラブを立ち上げた。メンバーは、白内障分野でこれまで十分実績を上げてきた臨床研究のエキスパートたちである。第6回のテーマは“多焦点眼内レンズを科学する”とした。視力不良例、レーザー屈折矯正術後、緑内障や網膜前膜のある症例、脱臼した症例、強度近視眼における多焦点眼内レンズについての総論から術後成績まで幅広く検討することで、先生方の明日からの臨床に応用できるエッセンスをお届けする。

レーザー屈折矯正術後の  
多焦点眼内レンズ術後成績

演者

名古屋アイクリニック  
小島 隆司先生

緑内障や網膜前膜のある症例の  
多焦点眼内レンズ術後成績

演者

六本木柴眼科  
柴 琢也先生

演者

大阪大学  
後藤 聰先生

多焦点眼内レンズにおける  
視力不良例に関する因子の検討

脱臼した多焦点眼内レンズの  
種類と傾向

演者

獨協医科大学  
松島 博之先生

強度近視眼における  
多焦点眼内レンズの術後成績

演者

慶應義塾大学  
鳥居 秀成先生

PanOptixと  
多焦点コンタクトの比較

演者

昭和医科大学  
神谷 和孝先生

共催：第79回日本臨床眼科学会／日本アルコン株式会社

Alcon